

BCG ワクチン接種についての説明書

BCG ワクチンの予防接種は、法律に基づいて受ける定期接種です。この説明書をよく読んで理解し、十分に医師から説明を受けたうえで予防接種を受けてください。

〔接種対象年齢〕

接種時点で大牟田市の住民である1歳未満の者
＜標準的な接種年齢：生後5か月～8か月＞

〔接種スケジュール〕

生後1歳に達するまでの間に1回
細い9本の針を皮膚におしつけるスタンプ方式です。

1 予防する病気

◆結核

結核菌は肺で増え、炎症反応を引き起こし、やがて肺の組織が壊されていきます。初期の症状はかぜの症状と似ていますが、咳や痰、微熱などが長く続くことが特徴です。体重減少や食欲不振、寝汗をかくこともあります。進行すると、だるさや息苦しさが出てきたり、血が混じった痰が出て、呼吸困難などを引き起こし、死に至ることもあります。

結核菌は全身の臓器にも広がることもあり、特に免疫機能が未発達な小さなお子さんは重症化しやすく、結核性髄膜炎などを発症します。

2 ワクチンの有効性

結核の発病を、BCG ワクチンを接種しなかった場合の4分の1くらいに抑えます。また、結核性髄膜炎など小児の重篤な結核の発病予防には特に効果的です。

3 ワクチンの副反応

ワクチン接種の正常な反応として、接種後2週目頃から、針の痕に一致した場所が赤く固くなったり、じくじくして化膿したようになることがあり、特に接種後5～6週頃に最も強く現れるとされています。その後、やがてかさぶたができ、3ヶ月程で小さな痕を残すのみとなります。また、まれではありますが、重大な副反応として、ショック、アナフィラキシー（通常接種後30分以内に出現する呼吸困難や全身性のじんましんなどを伴う重いアレルギー反応のこと）、全身播種性BCG感染症（全身にBCG菌が広がる病気）、骨炎・骨髄炎・骨膜炎、皮膚結核がみとめられる場合もあります。

4 コツホ現象

結核に感染している人にBCG ワクチンを接種した場合、接種後1週間から10日以内（多くの場合は3日以内）に、針の痕に一致した場所が赤く腫れ、化膿することがあります。一種のアレルギー反応によるものと考えられていますが、このような現象を「コツホ現象」と呼びます。コツホ現象は、結核菌に似た菌（非結核性酸菌）に感染した場合でも発生することがあるので、必ずしも結核に感染していることを意味するわけではありませんが、このような症状が出現した場合には、速やかに接種医療機関を受診してください。

コツホ現象が出現した場合は、接種局所を清潔に保つ以外の特別の処置は不要です。反応が起こってから、びらんや潰瘍が消失するまでの経過がおおむね4週間を超えるなど長期的に治癒しない場合は、混合感染の可能性もあるため、接種医療機関を受診してください。

5 予防接種を受ける前に

（1）一般的注意

気にかかることやわからないことがあれば、予防接種をうける前に担当の医師に質問しましょう。予診票は接種をする医師にとって、予防接種の可否を決める大切な情報です。保護者が責任をもって記入し、正しい情報を接種医に伝えてください。

（2）予防接種を受けることができない方

- ア. 明らかに発熱している方（通常は37.5℃以上の場合）
- イ. 重い急性疾患にかかっている方

- ウ. このワクチンの成分によってアナフィラキシーをおこしたことがある方
- エ. 結核その他の疾病の予防接種、外傷等によるケロイドのみとめられる方
- オ. 免疫機能に異常のある疾患を有する者および免疫抑制をきたす治療を受けている方
- カ. 結核の既往のある方
- キ. その他、かかりつけの医師に予防接種を受けないほうがよいといわれた方

(3) 予防接種を受けるに際し、医師とよく相談しなければならない方

- ア. 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害などの基礎疾患のある方
- イ. 過去に予防接種で接種後2日以内に発熱、全身性発疹などのアレルギーを疑う症状のみられた方
- ウ. 過去にけいれん（ひきつけ）をおこしたことがある方
- エ. 過去に免疫状態の異常を指摘されたことのある方もしくは近親者に先天性免疫不全症の者がいる方
- オ. このワクチンに対してアレルギーをおこすおそれのある方
- カ. 過去に結核患者との長期の接触がある方、結核感染の疑いがある方

(4) 接種を受けた後の注意事項

- ア. 接種後30分間は、ショックやアナフィラキシーがおこることがありますので、医師とすぐ連絡が取れるようにしておきましょう。
- イ. 接種後に高熱やけいれんなどの異常が出現した場合は、速やかに医師の診察を受けてください。
- ウ. 接種後1週間は体調に注意しましょう。また、接種後、接種局所の異常反応や体調の変化を訴える場合は速やかに医師にご相談ください。
- エ. このワクチンの接種後、違う種類のワクチンを接種する場合には、27日間以上の間隔をあける必要があります。
- オ. 接種部位は清潔に保ちましょう。入浴は問題ありませんが、接種部位をこすことはやめましょう。
- カ. 接種当日は激しい運動は避けてください。

5 副反応が起こった場合

予防接種後、まれに副反応が起こることがあります。予防接種と同時に、ほかの病気がたまたま重なって現れることもあります。予防接種を受けた後、接種した部位が痛みや熱をもってひどく腫れたり、体調変化が現れた場合は、速やかに接種した医師（医療機関）の診察を受けてください。予防接種によって引き起こされた副反応により、医療機関での治療が必要になったり、生活に支障が出るような障害を残すなどの健康被害が生じた場合には、予防接種法に基づき、国の審査会にて審議し、予防接種によるものと認定された場合に補償を受けることができます。

<問合せ>

大牟田市保健福祉部保健衛生課 電話:0944-41-2669